



● 今月のご紹介者

タカヤマ金属工業 株式会社 代表取締役社長 高山 正義 氏

『2040年の未来予測』 著/成毛真 出版社/日経BP



【概要】

これまでの10年より、これからの10年の方が世界は大きく、早く変わるだろう。テクノロジーに留まらず、ほかのことも、気づいたときには手遅れになっているのが人間の性である。地震や災害も、リスクをわかっているながらも被災するまで手打つ人は少ないし、社会制度も破綻しつつある。少子高齢化は進み、環境問題も悪くなる一方だ。これまでと同じように暮らしていたら、取り返しがつかなくなる可能性もある。この本は、あらゆるデータから導き出されるありのままの未来を書かれている。「今日」にはこれから起こることの萌芽がある。現在を見つめれば、未来の形をつかむことは誰にでもできる。ただ知識を得るためだけの本ではない。読んだ後、俯瞰的に未来を考えられる力がきつとついているだろう。

Q1：この本を手にとられたきっかけについて

私はいつも新聞の広告や経済誌の紹介欄から様々な本を知り、その中から気になったものを読むというパターンが多く、この一冊もその流れで購入しました。この本の中で特に気になったのが「2040年」です。本来なら2050年といった切りのいい数字が題名になりそうですが、そうでないところがよりリアルな未来予測が書かれているのではないかと興味を持ちました。

Q2：この本をお薦めしたい理由について

私の予想以上にリアルに2040年の未来予測が書かれていました。それも通信、AI、発電、年金、医療、衣・食・住、自然災害等多岐にわたり、そのどれもがしっかり現状を細かく、深く分析したうえで未来予測をされています。その全てが2040年には現実にこうなっているだろうと思わせる未来予測でありました。予測というよりも確

実に来る未来であると私は思いました。

Q3：こういった方にお薦めしたいですか

全ての人です。特にビジネスマン、中でも経営者の方は必須だと思います。若い方もできるだけ早く読んだ方が良いのではないのでしょうか。世の流れは一人を変えられるものではありませんが、その流れにうまく乗って自分や家族、会社を変化・進化させる必要があります。そのためには未来がどのように変化するかを知ると知らないでは大きな差が出ます。その将来を教えてくれる本でした。



Life Saving TAKAYAMA Life Happiness TAKAYAMA

タカヤマ金属工業株式会社

タカヤマ金属工業 株式会社

本社：大阪市生野区巽中2丁目2番地10

資本金：3,000万円

従業員数：300名

事業内容：樋受金具、建築金物の製造販売